



Title	新年のごあいさつ 第213号
Author(s)	今田, 光三; 西野, 誠; 堀, 哲也 他
Citation	makoto. 2026, 213, p. 2-7
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/103443
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新年のごあいさつ



一般財団法人大阪防疫協会
理事長

今田 光三

あけましておめでとうございます。

新しい年の始まりにあたり、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

当協会は、昭和22年5月15日の設立以来、「人々の健康で快適な暮らしへの奉仕」を原点とし、地域社会の衛生環境の向上に取り組んでまいりました。なかでも、大阪府および府内各市町村と連携しながら進める防疫施策への協力は、当協会の設立目的に深く根ざした重要な活動であり、長年にわたり力を注いでまいりました。

おかげさまで本年5月には創立79周年を迎えることとなります。これもひとえに、日頃より温かいご支援とご指導を賜っております皆様のお力添えの賜物と、心より感謝申し上げます。

昨年は、世界的な課題が続く一方で、2025年大阪・関西万博が盛大に開催され、国内外から多くの方々が訪れました。未来社会の実験場としての役割を果たした万博は、地域の活性化や国際交流の促進に大きく貢献し、私たちの暮らしにも新たな希望と活力をもたらしてくれました。

また、人と人との直接のふれあいが戻り、対面でのつながりの大切さを改めて感じる一年でもありました。技術の面では、生成AIなどの革新が進み、医療・福祉・教育などさまざまな分野での活用が広がっています。

2026年は干支でいう「午（うま）」年。馬が大地を駆けるように、私たちもスピード感としなやかさをもって、変化の時代を前向きに乗り越え、さらなる成長へと歩みを進めてまいりたいと存じます。

今後も、設立当初の理念を大切にしながら、民間の知恵を結集し、技術者集団としての専門性を活かして、より一層の社会貢献に努めてまいります。

地域の皆様の安心と健康を支えるため、引き続き大阪府ならびに各市町村との連携のもと、防疫施策への協力にも積極的に取り組んでまいります。

本年も、変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお祈り申し上げます。

新年のごあいさつ



大阪府健康医療部長

西野 誠

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられ、益々御清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素から大阪府の健康医療行政に御支援、御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は「大阪・関西万博」が開催され、多くの方々にご来場いただきました。大阪府は、大阪健康安全基盤研究所内に「大阪・関西万博解析センター」を設置し、万博における感染症対策の強化に努めてまいりました。幸いにも大規模な感染症の発生はなく、来場者の皆様には安心して万博をお楽しみいただけたのではないかと考えております。これは、行政のみならず、研究機関、医療機関、府民、そして事業者の皆様が一体となって取り組んでくださった成果であり、改めて多機関連携の重要性を実感致しました。

昨年度末には、新興感染症等による感染症危機が発生した場合の対策を示した「大阪府新型インフルエンザ等対策行動計画」を11年ぶりに改定しました。本計画には、行政と研究機関が連携したりリスク評価体制の強化や、医療機関・検査会社との協定に基づく医療提供体制の整備などを盛り込みました。府としては、万博で培った多機関連携を活かし、次なる感染症危機に備え、有事には柔軟かつ迅速に対応してまいります。

貴協会がこれまで培ってこられた公衆衛生に関する豊富な経験や専門的知見は、感染症の発生予防やまん延防止対策にあたり非常に心強いものです。今後とも大阪の安全・安心の確保に向け、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

新年のごあいさつ



大阪市健康局
生活衛生部長

堀 哲也

あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、健やかに新年をお迎えになったことと、心からお慶び申し上げます。

貴協会の皆様方におかれましては、平素から環境衛生行政をはじめ大阪市政の各般にわたり格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、貴協会におかれましては、防疫に関する知識の普及啓発や相談事業に日頃から取り組まれており、その社会貢献に対して深く敬意を表します。

貴協会が永年にわたり培ってこられた豊富な知識や経験は、衛生害虫等の対策に取り組む上で非常に心強く、今後とも、専門的な見地から地域を支え、市民の安全・安心の確保に御尽力いただくとともに、公衆衛生の向上に寄与いただくことを期待申し上げます。

さて、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催された2025年日本国際博覧会は、世界中から2,800万人を超える来場者を迎え入れ、昨年10月13日に閉幕しました。ご来場いただいた皆さま、また参加・応援いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

本市におきましては、この万博のレガシーを継承し、これらの経験により得たノウハウを活かして、大阪の未来に向けた取組を切れ目なく進め、誰もが安心していつまでも住み続けたいと思う「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現をめざしてまいります。

今後とも本市の環境衛生行政の推進に皆様方の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の今後ますますの御発展と会員の皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



堺市健康福祉局
保健所次長

藤川 桂祐

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、令和8年の新春を健やかにお迎えになり、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は本市の保健衛生行政の推進に際し、格別のご理解とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

さて、近年、地震・豪雨・台風などの自然災害が頻発し、各地で甚大な被害が生じています。昨年も例外ではなく、広域避難を伴う地震や津波、全国各地での集中豪雨などが相次ぎ、改めて災害への備えと対応力の強化が求められる一年となりました。

こうした災害は、健康危機管理の重要性を改めて認識させる契機となりました。本市におきましても、災害時の医療提供体制の整備や、感染症をはじめとする危機事象への迅速かつ的確な対応を図るため、関係機関との連携を一層強化してまいります。

また、昨年4月から10月にかけて開催された大阪・関西万博は、国内外から多くの来場者を迎え、盛況のうちに閉幕いたしました。万博では、環境衛生や感染症予防に配慮した取組が進められ、都市防疫に関する実践的な知見が蓄積されました。これらの経験は、今後の公衆衛生施策に大きな示唆を与えるものと考えております。一方で、国際的な人の往来が増加する中、新たな感染症の発生リスクも懸念されており、対策の強化が求められています。

貴協会におかれましては、長年にわたり培われた防疫に関する豊富な知識と経験、ならびに高度な技術を引き続きご發揮いただき、地域の衛生環境の維持・向上にご尽力いただくとともに、今後とも本市の保健衛生行政の推進に、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般財団法人大阪防疫協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



東大阪市理事
(健康部長事務取扱)

田中 健司

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々のご清栄をお慶び申し上げます。旧年中は、本市の保健衛生行政推進に際し、格別のご支援とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

昨年開催された大阪・関西万博が無事に幕を閉じました。この国際的なイベントは、国内外から多くの来場者を迎え、地域の文化や技術を世界に発信する貴重な機会となった一方で、開催中にはユスリカの大量発生が話題となり、その問題や対策に、多くの関心が寄せられました。特にユスリカの影響で、来場者が不快な思いをすることも多く、環境対策の重要性が再認識されるきっかけとなり、本市もその対策などについて日々取り組んでいるところです。

また昨年の9月、東京港青海ふ頭にて10,000個体以上のヒアリが確認されました。今のところ本市では確認されておりませんが、気温の上昇や大雨などの異常気象等、我々を取り巻く環境は刻一刻と変化しております。万が一の事態に備え、迅速な対応をとるためにも、我々保健所と事業者の皆様が日頃より密に連携し、専門的な知識や、最新の技術の取得が求められます。私どもと致しましても、市内生活衛生関係施設を充実させ、市民の皆様への啓発等をさらに強化し、より一層の対策を徹底して参る所存です。貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられました豊富な知識や技術を遺憾なく発揮され、今後とも本市の保健衛生行政推進に、引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ

高槻市保健所長

谷掛 千里

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博が開催され、世界各国の文化や価値観に触れる機会となり、大阪の技術や魅力を世界に発信することができました。SDGsの達成に向けた取組がさらに進むことが期待されています。一方、海外からの渡航者の増加に伴い、日本で流行していない感染症などの発生が改めて注目されています。特に、デング熱等の蚊媒介感染症は、地球温暖化の影響もあり、国内での発生の可能性が高まっています。また、トコジラミによる被害も都市部を中心に拡大傾向にあり、宿泊施設等における対策が求められています。

日本で流行していない感染症の流行が危惧されている中、貴協会が永年にわたり、感染症の予防及び公衆衛生の向上のための社会貢献に取り組まれていることは、本市としても大変心強く感じています。

本市では、「健康医療先進都市たかつき」の推進のため、令和6年2月に大阪医科薬科大学、医師会、歯科医師会、薬剤師会と締結した協定に基づき、連携会議を設置しました。昨年は特に、高血圧・心不全対策の推進や、がん対策の更なる充実に向け、専門的かつ具体的な検討を進めています。今後も、健康・医療に関する施策の更なる充実を図ってまいります。

貴協会におかれましては、今後とも防疫活動に関する豊富な知識や高度な技術を遺憾なく発揮され、市民の安全・安心の確保にご尽力いただくとともに、本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



豊中市健康医療部長

松 浪 桂

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様には、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした大阪・関西万博が開催され、国内外から多くの来場者を迎え、10月に184日の会期を終えました。豊中市においても、空港のあるまちとして、感染症をはじめとする健康危機事象を想定し、会期前より食品・生活衛生関係施設への監視指導を強化しました。

また、昨夏、市内小学生を対象に衛生害虫に関する講習会を開催し、子どもたちが活発に質問するなど、蚊やハチが引き起こす健康リスクを楽しく学ぶことができました。

本年は2040年に向けた社会構造の転換期にあたり、地域での保健医療体制の強化が求められており、気候変動などの環境変化による生活衛生への影響や健康課題の対応もますます重要となると考えられます。

本市においても、「安全、安心に暮らせるまち とよなか」を目指し、これまでの取組みを踏まえ、関係機関や市民と連携し、未来を担う子どもを含むあらゆる世代の健康課題に取り組むとともに、デジタル技術の活用をさらに進め、感染症や災害などの健康危機対応力の向上を図ってまいります。

貴協会におかれましては、永年培われた防疫や環境衛生対策に関する豊富な知識と経験、高度な技術をいかんなく発揮され、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



枚方市健康福祉部長

上 田 伸 一

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博が開催され、世界中から多くの来場者を迎えて盛況のうちに幕を閉じました。国内や海外パビリオンによる多彩な展示や最先端技術の披露に加え、会場環境の衛生管理、感染症対策、食の安全管理、医療体制などの日本の公衆衛生システムの信頼性や、それを支える衛生関係団体の高い水準を世界に示す機会ともなりました。

さて、本市におきましては、昨年7月に保健所を移転いたしました。多目的に活用できる各室を整備し、プライバシーに配慮した相談や集団での健康づくり、地域連携等の活動を一層推進することが可能となりました。同時にICT化を推進し、市民や事業者の利便性の向上を図るとともに、効果的な情報発信を進めています。また、市立ひらかた病院及び医師会・歯科医師会・薬剤師会の拠点である枚方市医師会館に隣接している立地をいかし、平時から関係機関・団体と連携した訓練や感染症に係る専門的人材の育成などの取り組みを計画的に進め、健康危機事象の発生時には「枚方市保健医療調整本部」を保健所に設置し、協力して円滑な保健医療活動にあたるなど、感染症パンデミックの発生時などを含め、より一層、健康危機管理の拠点としての役割を果たせるよう、機能強化を図ってまいります。

貴協会におかれましては、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



八尾市健康福祉部長

河野 聡

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は本市の保健衛生行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年、開催された大阪・関西万博は多くの人々が健康や命の大切さについて改めて考える貴重な機会となり、盛況のうちに幕を閉じました。

本市では、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に関連する取り組みの一つとして、「大阪ヘルスケアパビリオン」で大阪大学、横浜市立大学と共同研究した、「健康寿命推定アプリ」の体験展示を行いました。本アプリでは、アンケートに答えることで、一人ひとりにあった生活改善の提案を受けることができます。今後は、個人の健康に関するデータを活用した健康寿命延伸の一つの手法として、市民の健康づくりに役立ててまいりたいと考えています。

貴協会におかれましては、平素よりねずみ・衛生害虫防除業をはじめ、国有ワクチン供給事業、ならびに防疫事業に格別のご尽力を賜り、誠にありがとうございます。これらの事業は、地域衛生環境の維持向上及び感染症の予防において、極めて重要な役割を担っております。皆様の日々の献身的な活動により、私たちの地域社会が安心して暮らせる環境が守られていることに深く感謝申し上げます。

本市におきましては、貴協会をはじめとする関係機関と連携し、環境衛生対策や食品衛生対策、感染症対策等の保健衛生行政を推進し、公衆衛生の向上及び増進に努めてまいりますので、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



寝屋川市健康部長

木場 富士夫

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は本市の保健衛生行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）が開催され、世界中から多くの方々が来場されました。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、世界が抱える共通課題を解決するため、最新技術や多様な価値観を用いた様々な展示やイベントが開催され、大いに盛り上がりました。

本市では、健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく、健康で自立した生活を送れる期間）の延伸を図るため、特色ある健康づくりの柱として「ねやちょ筋プレミアム事業」を始動いたしました。

“ちょ筋”とは、運動や食生活により、ご自身のライフステージに応じた筋肉量・筋力を維持・向上させるとりくみの事です。筋肉量と筋力が多いと日常生活機能の改善や高血圧等の生活習慣病のリスクを低下、認知症予防など様々な効果が得られます。しかし、筋肉量と筋力は加齢とともに低下すると言われていたため、ねやちょ筋プレミアム事業では65歳以上の市民を対象とした「骨格筋量・骨密度の大測定会」を開催するとともに食事面へのアプローチとして「朝ごはんのたんぱく質チェック」などを実施しており、今後も様々な取り組みを実施し、市民生活に寄り添いながら健康寿命の延伸に努めてまいります。

貴協会におかれましては、長年にわたって培ってこられた防疫対策などに関する豊富な知識や高度な技術を遺憾なく発揮されますとともに、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



吹田市健康医療部長

岡松 道哉

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様には、清々しい新春を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、日頃から本市の健康医療行政に対し、格別の御支援と御協力を賜り、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症を乗り越えた経験と教訓を踏まえ、政府及び大阪府の行動計画改定を受けて「吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画」の改定を進めてまいりました。これは、将来にわたるあらゆる健康危機に備え、市民の皆様の安全と健康を守るための、きわめて重要な取組みです。市民の皆様からいただいた貴重な御意見も反映させながら、いかなる事態にも対応できる、より強固で実効性のある体制を構築してまいります。

一方で、私たちは日々の健康づくりにも引き続き力を注いでまいりました。令和4年度から始まった「健康すいた21（第3次）」は、いよいよ令和8年度が最終年度となります。この計画では、「くらしにとけこむ健康づくり」をテーマに、健都（北大阪健康医療都市）との連携を深めつつ、生活習慣病予防や健診受診率向上など、市民一人ひとりの健康意識を高める様々な施策を推進してまいりました。最終年度にあたり、これまでの成果をしっかりと検証し、次の計画へつなげていきたいと考えております。

感染症という健康危機への備えと、平時における市民の皆様の健康増進は、どちらも安全で安心な暮らしを築く上で不可欠な両輪です。私たちはこれらの施策をさらに密接に連携させ、健康と安心が両立する持続可能なまちづくりを加速させてまいります。

本年も、引き続き貴協会との連携をより一層深めながら、市民の皆様の健康と安心を守るため、職員一同、全力を尽くす所存です。

結びに、貴協会の益々のご発展と、会員皆様の御健勝、御多幸を心より祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



一般財団法人
阪大微生物病研究会
理事長

米田 悦啓

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は弊会のワクチン事業、検査事業等に対し格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も、日本国内外ではさまざまな出来事がありました。地元関西のニュースとしては大阪大学 特任教授 坂口志文 先生がノーベル生理学・医学賞を、京都大学 特別教授 北川進 先生がノーベル化学賞を受賞されました。関西から世界に誇るこの快挙は、私たちにとっても大きな喜びとなりました。

さらに、昨年のもう一つ大きな出来事として挙げられるのが、EXPO 2025 大阪・関西万博ではないでしょうか。万博は日を追うごとに盛り上がりを見せ、盛況のうちに閉幕しました。開催期間中は多くの方が大阪を訪れ、街全体が一層にぎわいを見せました。地域経済や文化交流に大きく寄与するとともに、最新の医療技術をはじめとしたさまざまな展示が行われ、私たちにとって学びや刺激の多い機会となりました。

しかし、こうした人の流れの増加は、感染症リスクを高めることにもつながります。昨年は、はしか（麻疹）などの輸入感染症に加え、マクロライド耐性百日せき菌（MRBP）による感染症の流行が話題となり、社会全体の衛生管理や感染症予防の重要性が改めて浮き彫りになった一年でもありました。こうした状況だからこそ、貴協会の事業は、社会全体の安心・安全を支える非常に重要な役割を果たすべく、ますますその重要性が高まっていくのではないのでしょうか。

弊会も、はしかや百日せきの予防ワクチンをはじめ、個人や社会の感染対策に欠かせないワクチンを幅広く供給しております。これまで培ってきた知識と技術を生かし、「優れたワクチンを通じて、世界中の人々の大切な命を守る」という使命のもと、社会への貢献に取り組んでまいります。そして、貴協会をはじめ医療・衛生分野の関係者と連携し、安心で安全な社会の維持・向上に努めてまいります。

結びにあたり、貴協会の更なるご発展と、会員の皆様方のご健勝を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。